

創域理工学研究科 生命生物学専攻

人材養成等に関する目的

生命生物学専攻は、微生物からヒトに至る生命科学の基本法則を探究するとともに、理学・農学・医学薬学・環境工学上の問題を解決するための周到な実験戦略を立案・遂行する能力を有する人材を育成する。

カリキュラム・ポリシー(抜粋)

1. 修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、本専攻で定める目的を実現するための教育課程を編成すると共に、生物学と学際的分野を融合した教育研究体制を配置する。
2. 博士後期課程においては、修士課程で養った高度な専門的知識や研究開発能力を基礎として、さらに「研究指導」「一般教養科目」により本専攻で定める目的を実現するための教育課程を編成すると共に、生物学と学際的分野を融合した教育研究体制を配置する。

※下記は2023年度入学生が対象のため、「必修」「選択必修」「選択」の区分や科目が2022年度以前入学者と一部異なります。詳細は各自の入学年度の大学院要覧で確認し、それに従って下さい。
 ※※コース制に伴う科目については、修了単位に含まれないため省略してあります。

